

BSAT-3c/JCSAT-110Rの打ち上げ成功



▲ BSAT-3c/JCSAT-110Rのイメージ

ロッキード・マーチン社提供

株 式会社放送衛星システムとスカパーJSAT株式会社が共同で調達する放送衛星と通信衛星の複合衛星であるBSAT-3c/JCSAT-110Rは、平成23年8月7日午前7時52分(現地時間6日午後7時52分)に、南米仏領ギアナ・クールにある射場からアリアン・スペース社のアリアン5型ロケットにより打ち上げられました。

その後、BSAT-3c/JCSAT-110Rはロケットからの分離や静止軌道への投入及び軌道上試験による性能確認も順調に行われ、9月21日に東経110度の軌道上で米国ロッキードマーチン社

BSAT-3c/JCSAT-110Rの概要

打ち上げ日時	2011年8月7日午前7時52分 (日本時間)	
打ち上げ場所	南米フランス領ギアナ宇宙センター	
打ち上げロケット	Ariane 5ECA (アリアン・スペース社)	
衛星バス	A2100A型 (ロッキード・マーチン社)	
衛星の主要諸元	BSAT-3c	JCSAT-110R
(1)周波数	17/12GHz	14/12GHz
(2)中継器	16本(予備4本含む)	12本+予備
(3)送信出力	120W	120W
(4)設計寿命	15年	15年
軌道位置	東経110度	

より引き取られました。

BSAT-3cは、現在放送中のBSデジタル放送や平成23年10月以降開始の新たなBSデジタル放送に対応するための衛星でBSAT-3a、3bとともに8チャンネル衛星3機の衛星運用体制で、BS12チャンネル放送に備えるものです。

JCSAT-110Rは、現在BS放送と同じ軌道位置の東経110度上の通信衛星NSAT-110のバックアップ衛星で、CSデジタル放送サービスの安定運用の継続と事業基盤の強化を目的としています。■